

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 3 月 27 日 (2008.3.27)

【公表番号】特表 2003-524032 (P2003-524032A)

【公表日】平成 15 年 8 月 12 日 (2003.8.12)

【出願番号】特願 2001-558146 (P2001-558146)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 J 5/18 (2006.01)

C 08 K 9/04 (2006.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 J 5/18 C E R

C 08 J 5/18 C E Z

C 08 K 9/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 20 年 2 月 7 日 (2008.2.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】 a) 透明熱可塑性ポリマー、並びに

b) インジウム原子の 2 ~ 30 % がスズ原子により置き換えられている酸化インジウム、酸素原子の 10 ~ 70 % がフッ素原子により置き換えられている酸化インジウム、スズ原子の 2 ~ 60 % がアンチモン原子により置き換えられている酸化スズ、酸素原子の 10 ~ 70 % がフッ素原子により置き換えられている酸化スズ、亜鉛原子の 1 ~ 30 % がアルミニウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の 2 ~ 30 % がインジウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の 2 ~ 30 % がガリウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、ペロブスカイト、および組成： $A_x B O_{3-y}$

〔式中、

$0.01 < x < 3$ 、

$0.001 < y < 1.5$ 、

$A = Ca、Sr、Ba、Al、In、Sn、Pb、Cu、Ag、Cd、Li、Na、K、Rb、Cs、La、Ce、Pr、Nd、Sm、Eu、Gd、Tb、Dy、Ho、Er、Tm、Yb、Lu、H$ または NH_4 、および

$B = W、Mo$ または Re 〕

を有する化合物からなる群から選ばれ、その平均粒度が 200 nm 未満である酸化物粒子を含有し、

該酸化物粒子の表面が、ポリビニルアセタールにより、または一般式 (I)：

$SiR^1R^2R^3R^4$ (I)

〔式中、

$R^1 = 1 \sim 30$ 個の C 原子を有するアルキル置換基、

$R^2 = 1 \sim 30$ 個の C 原子を有するアルキル置換基または 1 ~ 30 個の C 原子を有するアルコキシ置換基または Cl、Br 若しくは I、

$R^3 = 1 \sim 30$ 個の C 原子を有するアルキル置換基または 1 ~ 30 個の C 原子を有するアルコキシ置換基または Cl、Br 若しくは I、

$R^4 = 1 \sim 30$ 個の C 原子を有するアルコキシ置換基または Cl、Br 若しくは I〕

で示される化合物により改質されている組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

(発明を実施するための形態)

それゆえ本発明は、

a) 透明熱可塑性ポリマー、並びに

b) インジウム原子の 2 ~ 30 % がスズ原子により置き換えられている酸化インジウム、酸素原子の 10 ~ 70 % がフッ素原子により置き換えられている酸化インジウム、スズ原子の 2 ~ 60 % がアンチモン原子により置き換えられている酸化スズ、酸素原子の 10 ~ 70 % がフッ素原子により置き換えられている酸化スズ、亜鉛原子の 1 ~ 30 % がアルミニウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の 2 ~ 30 % がインジウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、亜鉛原子の 2 ~ 30 % がガリウム原子により置き換えられている酸化亜鉛、ペロブスカイト、および組成： $A_x B O_{3-y}$

[式中、

$0.01 < x < 3$ 、好ましくは $0.1 < x < 1$ 、

$0.001 < y < 1.5$ 、好ましくは $0.1 < y < 0.5$ 、

$A = Ca, Sr, Ba, Al, In, Sn, Pb, Cu, Ag, Cd, Li, Na, K, Rb, Cs, La, Ce, Pr, Nd, Sm, Eu, Gd, Tb, Dy, Ho, Er, Tm, Yb, Lu, H$ または NH_4 、

$B = W, Mo$ または Re]

を有する化合物からなる群から選ばれ、その平均粒度(超遠心分離により測定)が 200 nm 未満である酸化物粒子

を含有し、

該酸化物粒子の表面が、ポリビニルアセタールにより、または一般式(1)：

$SiR^1R^2R^3R^4$ (1)

[式中、

$R^1 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは 6 ~ 20 個、特に好ましくは 12 ~ 18 個の C 原子を有するアルキル置換基、

$R^2 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは 1 ~ 18 個、特に好ましくは 1 ~ 6 個の C 原子を有するアルキル置換基、または 1 ~ 30 個、好ましくは 1 ~ 6 個、特に好ましくは 1 ~ 2 個の C 原子を有するアルコキシ置換基または Cl, Br 若しくは I 、

$R^3 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは 1 ~ 18 個、特に好ましくは 1 ~ 6 個の C 原子を有するアルキル置換基、または 1 ~ 30 個、好ましくは 1 ~ 6 個、特に好ましくは 1 ~ 2 個の C 原子を有するアルコキシ置換基または Cl, Br 若しくは I 、

$R^4 = 1 \sim 30$ 個、好ましくは 1 ~ 6 個、特に好ましくは 1 ~ 2 個の C 原子を有するアルコキシ置換基または Cl, Br 若しくは I]

で示される化合物により改質されており、

酸化物粒子が、透明熱可塑性ポリマー 100 質量部につき、好ましくは 0.01 ~ 30 質量部、特に好ましくは 0.1 ~ 2 部の量で存在する

組成物を提供する。